

氏名 浜崎充彦

学位の種類 医学博士

学位授与番号 甲第177号

学位授与の日付 昭和41年3月31日

学位授与の要件 医学研究科病理系微生物学専攻
(学位規則第5条第1項該当)

学位論文題目 長期培養されたエールリッヒ腹水癌細胞 (JTC-11) の性状について

オ1 編標準株 (K株) の性状について

オ2 編標準株 (K株) の適性培地及び動物復元継代 K 株の
培養順応性 (株性) の性状について

オ3 編無蛋白地内継代亜株P6の樹立

論文審査委員 教授 村上栄 教授 小川勝士 教授 田中早苗

学位論文内容の要旨

長期培養されたJTC-11 (K株) 細胞を組織培養学的に検討した結果、研究材料としての優秀性が判明した（第一報）。又その復元細胞は動物通過によつても株性を長く保持する（第二報）。更に本株細胞を微量PVP含有無蛋白培地に馴化し、増殖継代可能な亜株を樹立し、その亜株は癌性を保持している事を確認した（第三報）。

第一報：岡山医学会雑誌 第76巻1,2,3合併号（昭和39年3月）

第二報：岡山医学会雑誌 第76巻4,5,6合併号（昭和39年6月）

第三報：細胞核病理学雑誌 第9巻1号（昭和39年12月）に掲載

論文審査の結果の要旨

浜崎充彦提出の「長期培養されたエールリッヒ腹水癌細胞（JTC-11）の性状について」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

著者は1960年に佐藤によって株化され3年以上試験管内で継代して来たエールリッヒ腹水癌細胞（K株）を用いて、培養性状、復元性、培養順応性（株性）及び無蛋白培地による培養等に就て研究を行い次の結果を得た。

K株は、少数の培養細胞によつても増殖可能（培養液は80%YLE+20%牛血清）であり、その増殖率は最高8日間で2000倍にも達し動物への復元実験に於て 1.6×10^4 細胞数以上で100%発癌死亡する。又復元株細胞は動物継代を続け、280日経過しても明に培養順応性を存している。又無蛋白培地を用いてK株細胞の株化に成功し、適性培地（PVP0.05%，Lactalbumin hydrolysate0.5%Yeast extract 0.1%，glucose0.45% YLE液）を決定している。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。